

# 金融で農業の成長産業化を支える研究

農林生産学科 准教授 森 佳子

日本の農業において、資金の貸し手は、国（日本政策金融公庫）と農協でした。しかし近年、民間金融機関（銀行等）による農業融資が大きく伸びています。銀行等が農業融資を行うようになってきた背景は、資金の借り手と貸し手双方を取り巻く環境変化が考えられます。

金融はどのようにして農業の成長産業化に貢献できるのでしょうか。本研究では  
 1) 新しいタイプの農業経営に対する金融機関（日本政策金融公庫・農協・民間金融機関）の役割な何か、2) さまざまなタイプの金融機関は農業経営に適切な融資ができているか、3) 農業経営はスムーズに資金調達するために、どのような条件を満たすことが求められるか、4) 政府による農業金融への関与（融資や信用保証）が、農業経営の発展および経営再生のプロセスに与える影響は何かについて、ミクロ経済学や企業評価の分析枠組みを使って取り組んでいます。この研究をとおして、（1）担い手の経営管理能力の向上、（2）農業経営発展に資する農業金融支援システム、（3）農業者支援を行う外部支援組織のあり方、の3つの視点から、農業の成長産業化に貢献する次世代の農業経営政策に向けた具体的な提言を行うことができます。

